令和４年８月１日（8 月号）

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行
〒699-0201　松江市玉湯町玉造 99-3
開館時間 9 時～17 時（入館は 16：30 まで）
休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040

■夏季企画展　開催中　7 月 26 日（火）～8 月 28 日（日）　２階展示室

「松江藩と玉造御茶屋」～藩主御入湯の記録～

玉造御茶屋は松江藩の公的な休憩・宿泊施設です。隣接する玉作湯神社とは関係も深く、松江藩からの寄進の品や発掘調査で出土した遺物や、不昧公が玉造御茶屋で作られた赤茶碗「曙」も展示しています。

★企画展関連事業

ギャラリートーク「調査員は見た、松江藩主の浴室」７月 30 日（土）参加者 20 名　実施

玉造御茶屋休憩所にて赤澤秀則氏（鹿島歴史民俗資料館館長）に発掘調査の経過や明らかになった玉造御茶屋の概要について説明がありました。今回、床下の布志名焼の埋甕が地鎮ではなく炉として使われれていたことなど、新たな真実発見の興味深いお話もありました。

■商売繁盛の神様　保性館の恵比寿・大黒天像

下関在住の廣田さんから、松江市出身の梁田泰佑作、恵比寿・大黒像を寄贈したいとの依頼が松江歴史館にありました。しかし展示の趣旨の違いにより御遠慮したいとの返事を受け、廣田さんは廃棄を考えられました。その話を聞いた片岡館長は、無名ながら素晴らしい作品を残している地元作家の作品が失われるのは惜しいと考え、展示にふさわしい施設はないかと奔走したところ、玉造温泉の保性館さんに快諾していただき、現在保性館ロビー正面に展示されています。（写真は廣田さんご家族と片岡館長）機会がありましたら、是非御覧ください。

■今月の一品　作品名：素銅風鎮（すあかふうちん）作者：塩津正寿（M22年～S54年）製作年代：不明

出雲地方を代表する金工師である塩津家２代目正寿の作品です。松江市魚町に生まれ、東京美術学校教授である海野清に執事し、帝展や国際美術展に作品を発表し多くの賞を受けました。香炉や花器、香合、彫金板など片切彫による作品で、初代とともに名工として名高いです。号は嘴月堂、嘴月老と称し、古美術品、陶磁器の鑑定家としても有名でした。

この作品は不純物がない精度の高い銅で作られた風鎮で隅丸長方形を象り、厚さ１cmほどの側面に「嘴月堂造」と小さく号が彫られています。表面には湧雲流水を模し線刻風の文様があります。

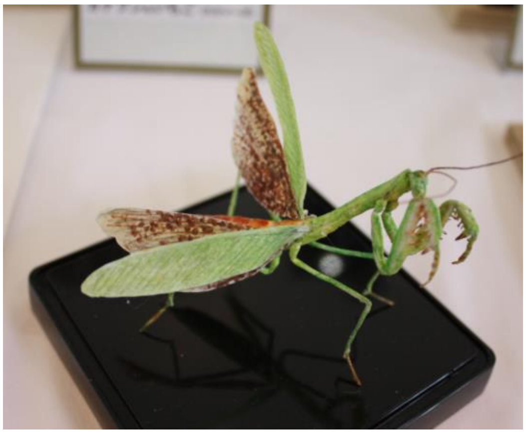
＊受付の前に展示しています。

■8 月のロビー展

無 料

出雲玉作資料館友の会主催

ティシュペーパーで作った昆虫



スポンジで作ったスイーツや果物

食べられませんのでかじらないでね！

実際に見て「えー！そっくり！！」と楽しんで下さい。

■【休館日のお知らせ】

8/12(金) 8/15(月) 8/22(月) 8/29(月)

■9 月ロビー展は【実重　攻　水彩画展】です。